

「子どもたちは、ちゃんと大人を見抜いていますぞよ！！」へのコメント

当 HP の「子どもたちは、ちゃんと大人を見抜いていますぞよ！！」の記事をお読みいただき、早速、コメントをいただきましたので、参考までに紹介します。

更に、いただきましたら、随時当ファイルを追加・更新します。

2007. 2. 10. 阿部幸泰

⑧ 中学三年生で担任からのいじめですか。

それだけでなく、受験とかなんかで大変な時期、辛かったでしょうね。

我が家の娘は、来年から、二年続けて受験。

それだけでも頭を抱えてしまうのに・・・親としては、どうしようもないですね。

成績を提出するのは、学校ですからね。

阿部さんのような方が近くにいて相談できたら、凄く楽だったでしょうね。

私は、昨年、本当に助けていただきました。いまもですけど（^-^）幸せ者です。

ストレスを教え子にぶつける、まるで虐待ですね。

私、思うんです。

私も未熟な親、先生も発展途上中、お互いに学び合い、共に成長したいな〜と。

でも、子供のいうことを真に受けて、一緒になって先生の悪口を子供の前でする親。それをもろに、学校へぶつける親。

今の担任はだめだから、嘆願書を書いて持ち上がらないよう運動しようといっている親。一方的な親が多いのも事実です。

騒ぐ親の相手、反抗期の子供たち、中学校の先生は大変ですねと話したことがありました。

ある先生は、大変だからこそ、その変化が嬉しいんです。楽しんです、と。

また、ある先生は、騒ぐ親や言うことをきかない生徒は、自分を磨くための砥石と。

頭がさがる思いでした。

阿部さんが言っているように、係わり合い、お互いの思いを語り合うことが大切ですね。

⑦HP読みました。

今まで新聞やニュースなどでしか聞かなかった教師によるいじめが実際に身近なところで起きているということを知り、とても悲しくなりました。

最近子どもが行きたくなる学校が少なくなっているような気がします。

本来勉強するはずの学校だけど、友達に会う楽しみなどもあると思います。

そのような楽しみを教師が奪ってしまうのはヒドイと思います。

簡単にはなくならない問題だとは思いますが、先生の文を読んでいつか社会から‘いじめ’という言葉がなくなればいいなと改めて思いました。

⑥今回の教師からのいじめの事実衝撃を受けました。

先生のストレス発散の的にされてしまったのでしょうか…。

ごく普通に学校生活を送ってきた私には本当にそのようなことがあるなんて正直信じられないし、信じたくないです…。

子どもに何の罪もないのに標的にしてしまうのですから、誰の身にも起こりうるし、私もそのような目にあってしまう可能性もあったのですね…。

事実を知った今、子ども育てていく保育者としてこの問題に向き合っていこうと強く思いました。

まだまだ未熟な私ですができることは子ども達にたっぷりの愛情注いでふれあっていく事だと思います！

⑤私の周りには先生がいじめをすることが無かったので、少し驚くと同時に、やっぱりなという思いも持ちました。

しかし、先生がいじめをすることはなくても、それ以外はありました。

私の地元の学校では、一つ下の学年から、先生いじめがあったようです。

私の知るかぎりでは、一人はノイローゼになって学校に来られなくなっただけです。

生徒間のイジメは日常的にありました。

④阿部さんの教え子さんが、そんな辛い体験をなさってたんですね・・・。

子供の時にうけた心の傷は、ずっと大人になっても消えないものです。

私の友人は高校の教師なのですが、今は教師がノイローゼになり、休職をしている人が多数いるとか・・・。

(教職員同士や生徒からのいやがらせが、その理由の一つにあるようです。)

いじめと言うものは、今は(昔から?)どこにでもあるものなのかもしれませんね。

会社では、上司が部下に対して。

このご時勢では、(能力ある?)部下が、上司に対して。

パワハラ・セクハラ・・・言い方は色々ありますが、結局は「いじめ」です。

昔からある、「嫁いびり」もそうですが(今はお嫁さんの方が強い?)。

結局いじめる側は、自分の「今」に満足していないという状況があるように思います。

今の毎日も、過去の自分も、想像する未来の人生も。

その不満のはけ口を、いじめという形で爆発させている。

だから対象者は当然自分より弱い(と思われる)人、物、動物に向かいます。

勝ち組、負け組、格差社会。

いじめの温床は、たくさんあるように思われますね。

日本人は、「人並み」などと横並びを好むところがありますが、これからは、お互いの違いを認め、他人と比べたりせず、自分なりの幸せのかたちを見つけて生きていきたいものですね。

自分の「今」を肯定できれば、他へのいじめも無くなるんじゃないかなと思います。

それにしても、教師が生徒をいじめるなんて言語道断です。

しかも、物を隠すだとか・・・本当に情けないです。

③すごい告白ですね。

教師という立場で何を考えているのか・・・と、はあ～と言いたくなる話ですものね。その経験をした子どもや家族の人生は戻ってきませんし、心の傷は残りますものね。だから！日々自分を高めていく必要があるのだと私は思います。

教師からのいじめという点で、今日、保護者からこんな話を聞きました。

保育園に通っている子ども（4歳児）の兄が小学校で集団行動が取れないということでお母さんが小学校に話に行ったとか。

すると、一緒に給食を食べられないから「廊下で給食を食べさせた」と先生からの話。もうちょっとなにかできることがあったのでは？と思いました。

②つらい想いを実感されても、「これから人の役に立てるように、何か私も考えたいと思います。」と、周りの痛みを思いやれるのが、とてもすごいです。

お言葉から、いつもお話下さる、「相手から理解者であると信頼される係わり合いを育む事」の大切さ、重みを感じます。

本当なら、学校が、その事を友達や、先生との係わり合いから積み重ねる場であるはずなのに、どうして、こんな事になるのでしょうか。

①話では聞いた事がある教師からのイジメですが、実際にあるんですね！！

驚きとショックを受けます。

子どもの話を聴いてあげるのが大人の役割なのに、聴くこともせずイジメる側にまわるとは・・・

残念な大人もいるものですね。

この元学生さんは阿部さんに出会うことができたから、少しは楽になれるかと思うのですが、このようなケースに陥った方は、相談する相手もおらず、大変な日々を今も送っているかもしれませんね。

私も実際にこんなケースはあることを、肝に銘じて、なおかつ、いろいろ考えなければ
ならないと感じています。